

Day

2

タイトル

4. アフリカの廃棄物管理改善に資する日本の技術(本邦企業の取り組み事例)

発表者

エコステージエンジニアリング株式会社 代表取締役 中園英司

発表者から以下のとおり、説明があった。

当社は、「天ぷら法」と呼んでいる油温減圧式乾燥法による食品リサイクル施設を提供している。油温減圧のドライヤーは、減圧下(真空)で油と食品廃棄物を混合することによって、油を熱媒体として活用し、急速に且つ均一に水分を飛ばす。「天ぷら」の調理方法と同じである。そのため、ドライヤーを「Cooker」と呼んでいる。処理された廃棄物は、家畜の飼料として活用することも出来る。

このシステムは、東京エコタウンに設置され、商業施設や食品業界からの食品廃棄物のリサイクルに活用されている。一日あたり168トンの食品廃棄物を処理することが出来る。さらに、昨年、170トン/日の処理能力を持つ施設も追加された。

要約

JICAの支援により、油温減圧乾燥機を活用したオリーブ工場残渣のリサイクルに関する実現可能性調査をモロッコで行っている。この調査では家畜の飼料だけではなく、オリーブ工場残渣から粗製オリーブ(ポマースオイル)を精製することが出来る。我々のシステムの利点は、1)パフォーマンスの高さと乾燥の速さ、2)安全な飼料、3)廃棄物からの油分回収、4)高カロリー燃料の製造、である。日本での経験から、アフリカにおける有機系廃棄物の問題解決に貢献できるものと信じている。

質疑応答においては、アフリカでのパートナー探しについては、ニジェールは、8割を農業に依存する農業国であり、今回発表された技術が活用できる資源が豊富に見つかるかと予測されるため、ニジェールがよいのではないか、という意見が出された。それに対して、質問が特定の内容であったため、モデレーターから、コーヒーブレイク中に個別のミーティングを行うよう薦められた。(この意見は、当該発表と続く2つの発表に向けられたものであった。)